

第17回日本スカウトジャンボリー

2018年8月4日～10日 石川・珠洲

参加者数

参加区分	国内	海外	計
参加隊	11,086人	534人	11,620人
大会運営スタッフ	1,588人	45人	1,633人
派遣団本部スタッフ	165人	19人	184人
計	12,839人	598人	13,437人

海外からは、12の国と地域から約600人（オーストラリア、台湾、インド、インドネシア、韓国、マカオ、マレーシア、ネパール、フィリピン、イギリス、アメリカ）が参加し、国内ではガールスカウト日本連盟からも参加しました。また、開催地の石川県や珠洲市の小学生も日帰りで体験参加しました。

東京4隊

アルパトロス班[文5] フクロウ班[文5]
スワロー班[文5] ピーコック班[文5]
ウッドベッカー班[文5] イーグル班[台7]
レッドロブスター班[台7]

レッドロブスター班 [台7]

初のジャンボリー参加でしたが、想像以上に楽しめました。9日夜のうちに撤営作業を終わらせ、仲間とともにテント無しで寝た、あの日の満天の星空は最高の思い出となりました。

イーグル班 [台7]

普段のキャンプと異なる班編成の仲間とのキャンプに戸惑うこともありましたが、非常に楽しい思い出が作れました。18NSJ東京大会にも何らかの形で参加したいと思います。

アルパトロス班 [文5]

他国のスカウトや、外人に話しかける勇気を得た。今回出会った人に、2022東京でまた会いたい。

ウッドベッカー班 [文5]

班の改善すべき点を直し、新たな課題を見つけることができたよい機会になった。

ピーコック班 [文5]

今回のNSJでは日本1プロジェクトが印象的でした。

フクロウ班 [文5]

様々な土地のスカウトを見て良い点・悪い点のどちらでも、考えるべき点がありました。

スワロー班 [文5]

班の課題も見つかり、また他国との交流もする事が出来た。班を大きくする事が出来たキャンプだった。

東京5隊

ウグイス班[台2]
アナコンダ班[台3]
オオカミ班[台4]
雷鳥班[文3]

ウグイス班 [台2]

ジャンボリーは、初めての参加でしたがとても楽しく思い出に残るものでした。次は2022年。今回出来なかった事を克服して次も頑張ります！

アナコンダ班 [台3]

私がボーイスカウトジャンボリーに行くのは初めての経験でした。私がキャンプ場へ行くバスに乗ってキャンプ場に到着まで自分がジャンボリーに行っているという実感がわかりませんでした。ジャンボリーの一週間、私は初めてを多く経験しました。バス移動に10時間も初めてでしたし、今までで間違いなく一番広いキャンプ場でした。そしてラッキーなことにエキスカージョンプログラムに行くことができました。そのプログラムでいろいろな体験をしました。そんな一週間で私は人生でとても貴重な事をしました。私はこの経験を忘れないと思います。

オオカミ班 [台4]

普段の団や隊でのキャンプでは出来ないプログラムなどが出来て楽しめました。交流会のキャンプファイヤーのエルマスターは特に他では出来ない経験でした。

雷鳥班 [文3]

Special Thanks NOTO. Welcom to TOKYO.

